

## 五所川原

### 2年生卒業研究 中間発表堂々と

東北能開大青森校

五所川原市の東北能開大青森校は18日、ふるさと交流圏民センター「オルテンシア」で卒業研究中間発表会を開いた。2年生約20人9組がそれぞれの研究テーマを壇上で堂々と発表した。

生徒は「水力発電機の製作」「LED(発光ダイオード)車両用交通信号灯の



会場からの質疑応答  
に答える生徒たち

着雪凍結対策」などをテーマに発表した。同校と連携している弘前東高、弘前工業高、五所川原工業高の生徒約250人が聞き入った。

同青森校の小坂実輝さんと小柳勇人さんは「ブロックチェーンを用いたトレーサビリティシステムの構築」について発表。仮想通貨の中核技術として使われているブロックチェーン技術を学習し、工業製品の部品管理などに活用する方法を研究しているという。

生徒たちは来年2月下旬に本発表に臨む予定。

(小路口裕充)